

平成29年度行政評価 施策評価シート (平成28年度実績)

施策名 環境保全の推進

施策コード 040302

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 環境衛生課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり(安全・環境)	節 第3節 環境衛生・環境保全
	施策	環境保全の推進	

**基本方針**  
 ・地球温暖化対策の推進とともに、市、市民、事業所が連携して、市域の環境美化及び環境保全を推進します。

**現況と課題**  
 ・公害の未然防止に努めるとともに、発生源(原因事業所)に対して、規制基準を遵守するよう指導することが必要です。また、生活排水処理の遅れから、市域を流れる見出川、佐野川及び樫井川の水質は、改善傾向にあるものの、環境基準を達成していない地点もあります。  
 ・地球温暖化への負荷を低減させるため、温室効果ガスの排出削減が求められています。  
 ・空き缶、たばこの吸殻、粗大ごみなどの路上投棄や不法投棄がなくなり、環境が悪化し、美観上も問題が生じています。ごみの路上投棄や不法投棄をなくす取り組みが必要です。

**施策目標**  
 対象(誰を、何を、どこを)  
 市民

**意図(どのような状態にしたいのか)**  
 公害の発生源に対する規制や環境への負荷の低減のために必要な対応をとることにより、健康で安全な生活を営むことのできる良好な環境を保全します。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度(偏差値)	51.5						
重要度(偏差値)	45.9						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H27決算	H28決算					
コストの内訳	人件費	千円	100,646	100,378				
	事業費		23,447	28,881				
	フルコスト		124,093	129,259				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		460	549				
	市債		0	0				
	その他		6,274	11,273				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		117,359	117,437				
一般財源2(=直接事業費-特定財源)	16,713	17,059						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標1		温室効果ガス総排出量					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	7,033.0	6,962.0	6,654.0	6,645.0	6,636.0	6,627.0	6,619.0
実績値	6,662.0	6,663.0	6,654.0	6,416.0	6,624.0		
達成度	105.6	104.5	100.0	103.6	100.2		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
地球温暖化への負荷を低減させるため、温室効果ガスの排出削減が求められています。市の事務及び事業に関する温室効果ガス総排出量を把握することで、排出抑制が進んでいるかがわかります。		大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づく実績報告書の目標値から設定(排出係数は変えていない)。			平成28年度は、猛暑極寒に見舞われ、ガス空調のエネルギー使用が増加したほか集客施設での会場使用が増え使用量が増えた。本庁舎では耐震工事にあわせ1階部分の照明をLED化したこともあり目標値はクリアしたが、昨年よりCO2排出量は増加した。		

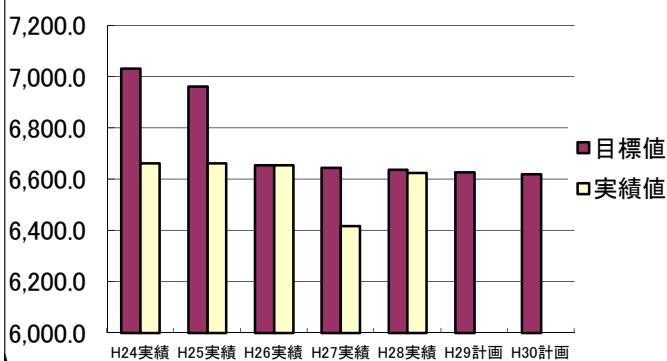
② 成果指標 2		環境美化清掃活動報償金交付対象団体数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	60.0	61.0	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0
実績値	58.0	58.0	60.0	60.0	60.0		
達成度	96.67	95.08	96.77	96.77	96.77		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
泉佐野市町会連合会に加入している団体等が自主的に行う地域の環境美化清掃活動（クリーン活動）に対する報償金の交付対象団体数を把握することで、市民の環境問題に対する関心、関わりの度合いがわかります	平成21年度までは環境美化活動重点地域補助金を41団体に交付していた。平成22年度からはこの補助金を廃止し、環境美化清掃活動報償金を交付することとした。平成21年度の補助金交付実績を基本に毎年対象団体数を増やし、いずれは全町会の8割にあたる64団体を目標とします。 平成22年度実績で単年度目標値を上回ったため、23年度以降の目標値を修正。 平成23年度実績で単年度目標値を上回ったため、24年度以降の目標値を修正。	リサイクルに関する市民の関心が高まっているため。

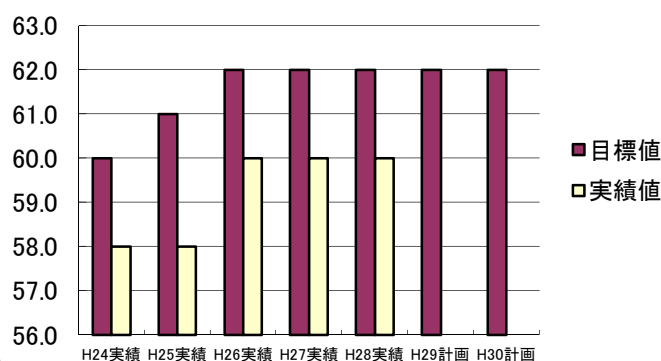
③ 成果指標 3		不法投棄事案受付件数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値		242.0	218.0	218.0	190.0	108.0	98.0
実績値		242.0	228.0	193.0	120.0		
達成度		100.0	104.6	113.0	158.3		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
日常受け付けている不法投棄事案の件数を把握することで、市域内での美化推進度合いがわかります。	平成25年度実績242件に対し、10%減少を設定。 平成27年度実績で目標を達成したため、平成28年度以降の目標値を修正。 平成28年度実績で目標を達成したため、平成29年度以降の目標値を修正。	投棄者の手がかり物が発見された場合は必ず警察に事案報告し、検挙→罰金や厳重注意等を行い、不法投棄の減少をはかっている。

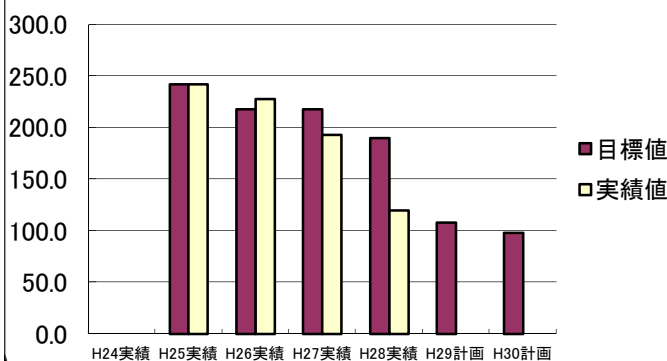
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	温室効果ガス総排出量については、平成28年度にガス空調の使用量増がみられたが、省エネ意識、節電意識のの定着もあり、CO2排出量の減少が見られている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	市民アンケートの施策に対する満足度は、51.2 (H19) から51.5 (H24) に向上している。美化推進条例の改正によるポイ捨てや路上喫煙に対する取り組みが評価されたものと思われる。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	東日本大震災、原発事故を機に、国はCO2の削減目標をゼロベースで見直していましたが、2015年5月に策定した地球温暖化対策計画において、2030年度までに温室効果ガスを2013年度比で26%削減するとしました。
	合計点	(10点中) <b>9点</b>	
総合評価	<b>A</b>	地球温暖化を感じさせる異常気象が見られ、節電に対する意識も定着しエネルギー使用量も徐々に減少している。悪質な不法投棄には、警察と連携し、対処している。犬フンの放置には、啓発広報活動を行うとともに巡視員による取り締まりも強化し、減少に努めている。	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H28年度決算額			H29年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01009400	自転車等駐車場運営事業				—	C
2	01009500	放置自転車対策事業				—	B
3	01029300	公害対策事業	23,141	6,812	2,901	8,804	B
4	01038190	クリーン推進事業	77,237	22,069	14,158	25,559	B
合計			100,378	28,881	17,059	34,363	